

平成 19 年 12 月 21 日

保護者様

横浜市立都岡中学校

校長 古川三千代

全国学力・学習状況調査結果について

平成 19 年 4 月に実施しました全国学力・学習状況調査の調査結果がまとまりました。この結果、および本校の今後の取り組みについてご説明いたします。

なお、今回の調査によって測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面にすぎません。この結果に一喜一憂することなく、生徒一人ひとりの力をつけることに、引き続き取り組んで参ります。保護者の皆様には本調査の趣旨を十分に理解した受け止め方をしていただけるようお願いいたします。

なお、調査内容は以下の通りです。

ア 教科に関する調査

国語 A 数学 A 主として「知識」に関する問題

国語 B 数学 B 主として「活用」に関する問題

イ 質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査

調査対象 3 年生

都岡中学校 調査結果の概要

個々の結果については、生徒本人にそれぞれ個人票を渡していますので、そちらをご覧ください。以下の結果は都岡中学校全体の傾向です。

1 教科学習状況調査結果

全体的な状況

全体的に全国、県の正答率（答えが合っていたものの全体にしめる割合）より、若干低い結果が出ました。また、記述式で解答する問題を苦手とする傾向があります。

教科ごとの状況（比較的良いと思われる結果）

【国語】 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。

生活の場面で敬語を適切に使う。

必要な情報を収集し、表現に生かす

作品の内容や表現上の特徴をとらえる

【数学】 グラフから情報を読み取る。

数量・図形などについての知識理解

平行線の同位角の性質を理解している。

同じ弧に対する円周角と中心角の関係を理解している。

2 生徒質問紙調査から見られる生徒の状況

生活のリズムは食事、睡眠ともよくとれています。

世の中のことに興味を持っている生徒が多いです。

行事や授業など学校で楽しいと思っている活動がある生徒が多いです。

地域の中で生活する態度（挨拶をするなど）は、しっかりできています。

自然豊かなこの地で生活している生徒にとって自然はとても身近なものになっています。

- ・ 余暇の使い方では、体を動かすことが少ないようです。
- ・ 自分に自信を持っていない生徒の割合が多いようです。
- ・ 携帯電話の所有率は高く、その使用頻度も高いものです。
- ・ 家庭学習の時間が短いようです。

3 都岡中学校の今後の取り組み

各教科で基礎基本の定着を図ります。

少人数指導を現在数学と英語で導入しています。可能な限り継続して、個々の生徒の「わかった!」「できた!」の声が増えるようにします。

長期休暇中や放課後の勉強会を充実させます。

授業を点検し、わかりやすい授業をめざします。

4 家庭で今後取り組んでいただきたいこと

家庭学習の時間を確保し、学習習慣を身につけさせてください。

望ましい生活リズムを持てるようにしてください。

体力をつけ健康な生活を送るために、戸外の遊びを推奨します。

家族での団らんの時間をとるようにしてください。

携帯電話によるトラブル、犯罪が増えています。利用方法について、家族で一度考えてください。また、学校生活では不要な物です。学校へ持たせる場合は、朝、担任に預けるようにご指導ください。